

## ⑫ 公開特許公報(A) 平2-175576

⑬ Int. Cl.<sup>5</sup>B 66 B 3/00  
G 09 F 27/00

識別記号

F

庁内整理番号

7828-3F  
6422-5C

⑭ 公開 平成2年(1990)7月6日

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全3頁)

⑮ 発明の名称 エレベータの放送・案内表示装置

⑯ 特 願 昭63-326030

⑰ 出 願 昭63(1988)12月26日

⑱ 発 明 者 斎 藤 泰 市 東京都千代田区神田錦町1丁目6番地 日立エレベータサー  
ビス株式会社内⑲ 出 願 人 日立エレベータサービ 東京都千代田区神田錦町1丁目6番地  
ス株式会社

⑳ 代 理 人 弁理士 武 頭次郎

## 明 細 書

## 1. 発明の名称

エレベータの放送・案内表示装置

## 2. 特許請求の範囲

(1) 表面に案内事項が標示された薄型スピーカと、この薄型スピーカに接続され、案内放送のための音声信号を形成する音声信号出力手段とを有する放送・案内表示装置を備え、前記薄型スピーカは、各階床の乗場および乗かご内の少なくとも一方に設置されていることを特徴とするエレベータの放送・案内表示装置。

## 3. 発明の詳細な説明

〔産業上の利用分野〕

本発明は、エレベータの放送・案内表示装置に関するものである。

〔従来の技術〕

従来この種の装置は、エレベータの乗かご内に、掲示を出すことにより案内事項や催し物等の案内を行なう。一方建物の天井に設置された放送装置のスピーカから案内放送や催し物等の放送を行な

っていた。

〔発明が解決しようとする課題〕

上記従来技術は、放送装置と案内装置とが別々に離れており、乗客がエレベータに乗り、案内装置を見て別の方向からの案内放送は聞きもらすことがあり、十分に案内機能を発揮することができなかった。

本発明の目的は、エレベータ乗客に対して、充分な案内機能を発揮することができるエレベータの放送・案内表示装置を提供することにある。

〔課題を解決するための手段〕

本発明の特徴は、表面に案内事項が標示された薄型スピーカと、この薄型スピーカに接続され、案内放送のため音声信号を形成する音声信号出力手段とを有する放送・案内表示装置を備え、前記薄型スピーカは、各階床の乗場および乗かご内の少なくとも一方に設置されていることにある。

〔作用〕

上記のように案内装置と放送装置のスピーカとが、一体であるから案内事項を標示している箇所

BEST AVAILABLE COPY

から案内放送等の音声を送ることができるので、乗客が、案内放送を聞きもらすことがなくなり、十分な案内機能を発揮することができる。

#### 〔実施例〕

以下本発明の一実施例を第1図ないし第2図により説明する。第2図は正面図であり、第3図は側面図であり、第1図は斜視図である。放送案内装置2は、薄型スピーカ7このスピーカ7の表裏の少なくとも表に貼り付けられた案内事項の内容、たとえば、各階床ごとの入居会社名、売場名を記載したポスター等の標示6、放送用の音声信号を発生する再生器、増巾器等の音声信号出力器から構成されている。薄型スピーカ7は乗かご1内の側板5に、ビス止めされている。前記薄型スピーカ7としては、圧電スピーカやペーパースピーカ、ボードスピーカが使用されている。音声信号は、電気ケーブルを通し薄型スピーカ7に接続されている。音声信号出力器としては、カセットレコーダーやIC音声合成装置等が使用される。尚符号3は運転盤である。エレベータが運転されている

ときは、音声信号出力器を動作させ標示6の内容を音声（合成音声）による案内を送す。

このように本発明の実施例は、案内放送を標示6と同じ箇所から流しているのので、乗客には案内事項の内容を聞きもらしたり、見落とすことがなくなる。また、案内標示6と薄型スピーカ7とが一体物であつて、その物自体で、放送機能および標示機能を果たすことができる。また案内標示6のポスター内容および音声信号出力器からの音声信号内容（カセットテープおよびICカードの録音内容）を変えれば、他の用途にも利用できる。また既設エレベータの乗かご内に、案内放送装置を取付ける場合、現地にて天板、側板5を切欠く等の加工を行なうことなく、しかも、天板、側板5の裏側にボックス深とだけ出張するようなことも防止でき、そのため既設エレベータ構成部品、例えば、ケージドアレールやカウンターウエートとぶつからないに取付けなければならない等の制約も受けることがない。上記実施例では、薄型スピーカ7を乗かご内の側板5に取付けた場合について

- 3 -

- 4 -

述べたが、乗場側にのみ設置してもよいし乗かご内および乗場側の両方に設置してもよい。

#### 〔発明の効果〕

以上説明したように本発明によれば、案内装置と、放送装置のスピーカとが一体であるから、案内事項を標示している箇所から、案内放送等の音声を送ることができるので、乗客が案内放送を聞きもらすことがなくなり、十分な案内機能を発揮することができる。

#### 4. 図面の簡単な説明

第1図は設置状況を表す斜視図、第2図は正面図、第3図は第2図の側面図である。

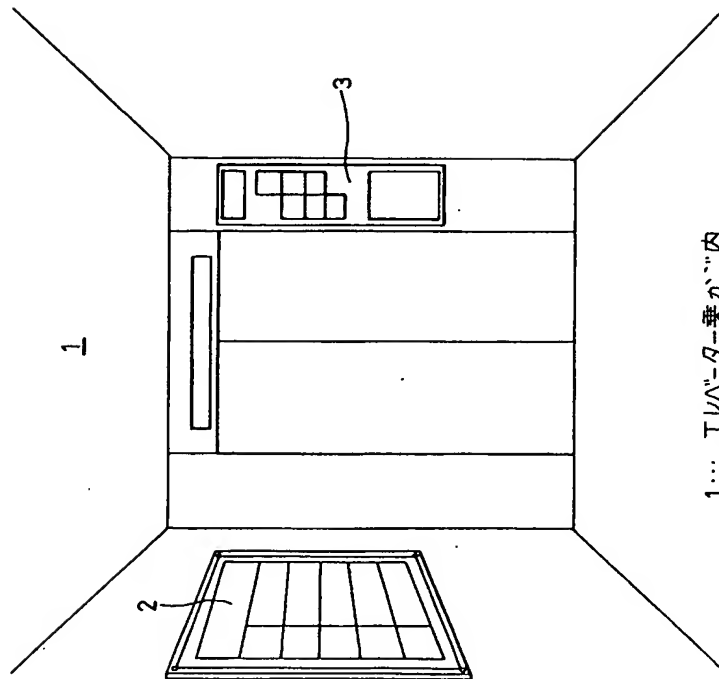
7…薄型スピーカ、6…案内標示、5…乗かご側板、4…取付ビス、8…案内標示フレーム。

代理人 弁理士 武 頌次郎



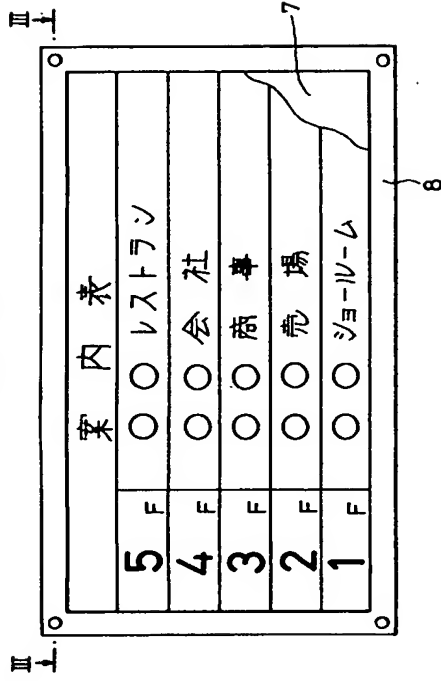
BEST AVAILABLE COPY

第 1 図

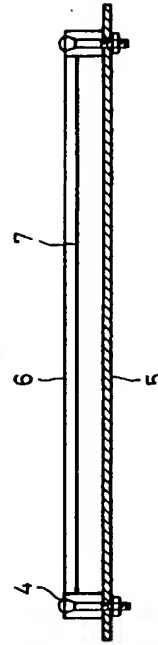


- 1... エレベーター乗客室内
- 2... 案内標示装置
- 3... 運転盤

第 2 図



第 3 図



- 4... 取付ビス
- 5... 乗客側板
- 6... 案内標示
- 7... 薄型スピーカー
- 8... 案内表示フレーム

BEST AVAILABLE COPY